

◆新庁舎落成のお知らせ

塩釜港湾・空港整備事務所庁舎は昭和43年に建設され、平成18年に耐震補強を行った築後44年を経過した建物です。

平成23年3月11日の東日本大震災時には補強の甲斐もあり、震度6強の揺れに対して庁舎本体の損壊を免れ、付近の住民・労働者86名が屋上に避難し、翌日の津波がひくまでの間、2階執務室で命を繋ぐことが出来ました。

しかし、庁舎は津波によって1階が浸水した他、老朽化によって雨漏りや漏電が頻発していたことから、平成24年3月に新庁舎建設に着手し、平成24年12月末に庁舎本体が完成しました。新庁舎は3階建てで、外から屋上に通じる外階段を設置。防災用品を3階に保管するなど、震災時の教訓を取り入れた造りとしています。

平成25年1月15日からは新庁舎において業務を開始しておりますが、あの日夜、職員を含む103人の命の拠り所となった旧庁舎は現在、取り壊し工事を進めており、跡地は訪れる方をお迎えする駐車スペースとなる予定です。

震災の教訓を忘れず、復旧から復興に向けて、地域の力となれるよう、職員一同、業務に取り組んで参ります。





旧庁舎取り壊し
H25. 1. 31撮影



新庁舎外観
H25. 2. 1撮影